

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業 運動部活動の地域移行に向けた実証事業 成果報告書（概要）

福岡県福岡市

●地域における現状・課題

- 福岡市は、全国的な少子化傾向とは異なり、児童生徒数は横ばいで推移しており、当面の間、生徒数に大きな変化はない見込みである。
- 教員は、競技経験がなくても指導せざるを得なかったり、休日も含めた部活動指導が求められたりする場合もある。
- 拠点校方式や合同部活動を実施する場合、生徒の活動・大会出場機会の減少が懸念される。一方で、教員の働き方改革は急務である。

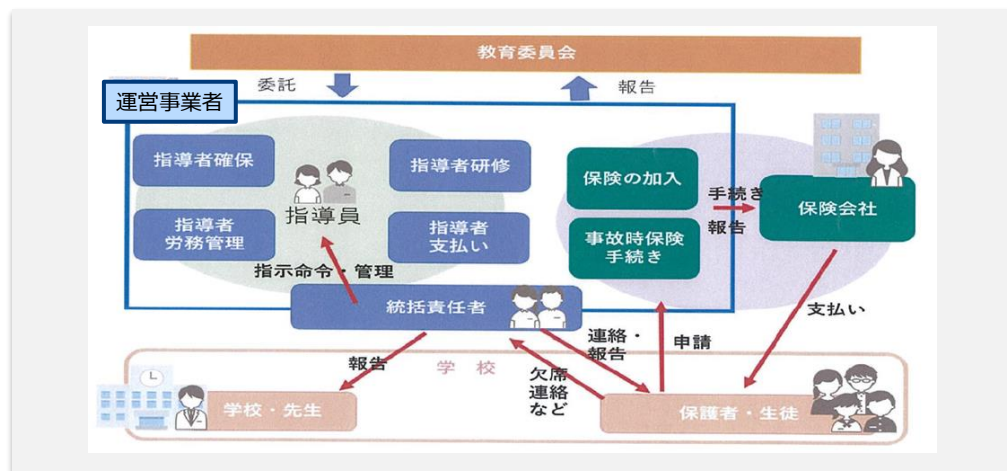
●取組事項の概要

- 専門的な指導ができる指導員を派遣することによる生徒の活動の質の向上（オ：内容の充実）
- 休日の部活動を外部委託することによる顧問を担う教員の負担軽減（ク：その他の取組）
- 実証事業参加者アンケート調査を実施することによる学校、保護者、生徒の意見収集（ク：その他の取組）

●取組の成果、特に工夫した点等

- 生徒の活動の質の向上及び顧問を担う教員の負担軽減については、一定の効果が確認できた。（参加者対象アンケート調査、時間外勤務時間の推移）
- アンケート調査を実施でき、参加者の肯定否定双方の意見が収集できた。（参加者対象アンケート調査）
- （工夫した点）統括責任者と運営補助員の配置、活動報告書の共有、連絡会の開催により、生徒にとってより適切な活動となるよう取り組んだ。

●運営体制図



●地域クラブ活動の概要（代表的な取組例）

- (1) 運営類型：民間スポーツ事業者運営型
- (2) 運営主体：リーフラス株式会社
- (3) 種目：卓球、男子ソフトテニス、サッカー、女子バスケットボール
- (4) 指導者の主な属性：大学生
- (5) 1か月あたりの平均的な活動回数：月4回程度
- (6) 主な活動場所：高取中学校、田隈中学校
- (7) 主な移動手段：徒歩
- (6) 1人あたりの参加会費等（年額）：0円/年
- (7) 1人あたりの保険料：生徒0円／指導者0円